

証券市場新聞

1 第119号

日経平均株価

2万1181円64銭

▼542円83銭(前日比)

TOPIX

1708.34

▼31.86(前日比)

2018
3/5

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



動きだす配車サービス

トヨタ、日産、ソニー本格展開へ

自動車メーカーやエレクトロニクス企業、タクシー業界などが業界の垣根を越えて配車サービスを本格展開し始めた。米国では配車アプリサービスを手掛けるUber(ウーバー)が先駆的存在で、わずか5年で日本など世界53カ国、250都市で展開するまでになった。今回、AI(人工知能)などを最先端の技術を駆使し、先行きは自動運転を組み入れたものも視野に入れており、2020年の東京五輪などへ向けて外国人旅行者の需要増も視野に入れている。

自動運転視野に業界の垣根越え

Uberが世界各国でサービス展開を加速させているなかで、日本でも業界の垣根を越えて新たな配車サービスを発表して



配車サービスがタクシー業界に革命をもたらす

きた。2020年の東京五輪や万博の誘致が最終局面を迎える大規模な外国人観光客の移動手段の充実が急務

となるなか、乗りたい場所に車両を呼び降りたい場所でも降りられる配車サービスの利便性が魅力的だ。ソニー(6758)は「大和自動車交通(9082)」を含むタクシー会社6社とAI技術を活用した配車サービス事業の意向確認書を締結、開発・運営の新社を今年春に設立する方針。

日産自動車(72)は「Easy Ride(イージーライド)」の実証実験を3月5日から横浜市のみならず、周辺で開始すると発表。配車予約のアプリを「Easy Ride」が提供し、将来的には無人の自動運転による配車サービス

01)は「ディー・エヌ・エー(2432)」と無人運転車両を活用した共同開発中の新しい交通サービス「Easy Ride(イージーライド)」の実証実験を3月5日から横浜市のみならず、周辺で開始すると発表。配車予約のアプリを「Easy Ride」が提供し、将来的には無人の自動運転による配車サービス

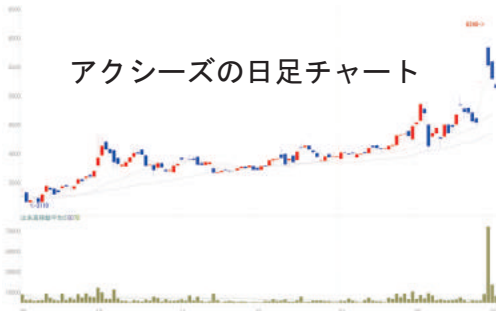
を視野に入れているようだ。一方、トヨタ自動車(7203)はタクシー配車アプリとして、国内トップシェアの「全国タクシー」を開発したJapan Taxiに出資することを発表、出資額は約75億円で、Japan Taxiとはタクシー向けコネクティッド端末、配車支援システムの共同開発、ビッグデータ収集といった分野での協力、協業を進めていく方針だ。

日経平均日足チャート



アクシーズS高

日ハムと資本業務提携



26日、チエル(3933)、すくらね(3998)のデジタル教材関連株が続騰。前週末23日、政府が小中高校でタブレット端末などで利用できる「デジタル教科書」を正式な教科書と位置付ける学校教育法改正案を閣議決定したことをきっかけに人気を集めており、受注増勢による業績急拡大へ期待がさらに高まった。小学校で次期学習指導要領が全面実施される2020年度から本格的に現場

26日、前週末に東証マザーズに新規上場したMマート(4380)は公開価格1240円の4.3倍となる5380円で初値が生まれた。同社はBtoBに特化したインターネットマーケティングプラットフォーム事業を展開、今年最初のIPOとして注目を集めていた。

26日、JCU(4975)が大幅続伸。前週末取引終了後、3月30日を基準日として1株を2株へ株式分割を実施すると発表されたことが好感された。最低投資金額を引き下げることで、株式流動性を高め、投資家層を拡大することが狙い。

27日、ラクーン(3031)が急反落。18年4月期第3四半期の連結決算は、売上高18億8700万円(前年同期比8.2%増)、営業利益3億3400万円(同5.3%増)と

増収増益で着地したが、通期予想の営業利益4億9000万円(前期比16.4%増)に対する進捗率は68.2%にとどまり、計画未達成を警戒した売りがかさんだ。SD expense r t nなどの広告投資が収益を圧迫した。

本業務提携を行うと発表されたことが材料視された。日本ハムは、アクシーズ普通株式50万株(発行済株式総数の8.9%)を取得、安全で高品質な国産鶏肉商品の供給体制拡大と

週明け26日、アクシーズ(138)がストップ高。23日の取引終了後、日本ハム(228)と資

日本ハムグループの販売網により消費者への安定供給と付加価値商品の販路拡大を目指す。

26日、田中商事(7619)が急落、昨年来安値を更新した。23日の取引終了後、18年3月期の連結業績予想を売上高で3億2500万円から2億8100万円(前期比2.0%減)へ、営業利益で16億4400万円

円から8億6600万円(同22.3%減)へ、純利益で9億8600万円(同31.9%減)へ下方修正したことが嫌気された。労務費、資材費の高騰が影響。

2日の東京市場は下げが加速しました。トランプ大統領が鉄鋼とアルミに新たな関税を課すと表明、NYダウが400ドルを超える下落となり、105円台までしに降り、日経平均の値動きも同様。トランプ大統領の発表を終え、荒い展開が降、荒れてプログラム

念されま。流れを見極め、大きくノドを狙える銘柄の物きたいところ。目柄で、

デジタル教材関連続騰

JCU分割と自社株消却

正直じいさんの株で大判小判

不安継続もリバウンドに備える

今週の動意銘柄



花咲翁

ラクーン未達警戒

5G関連軒並み高

商用化1年前倒しで一斉始動

27日、サイバークム(3852)がストップ高で東証1部上昇率トップに買われたほか、ネクストジェン(3842)やアイレックス(6944)、アンリツ(6754)、アルチザネットワークス(6778)など5G関連銘柄の軒並み高。世界の通信事業者や機器メーカーが

次世代高速通信規格「5G」の2019年商用化に向けて一斉に動き出したと伝わった。当初計画を1年前倒しする。スマートフォン向け高速通信のほか、あらゆるモノがネットワークの進化やつながるクルマ「コネクテッドカー」の開発など、世界的な投資やサー

企業観察 ハリマ化成G (4410)

通期計画達成にメド

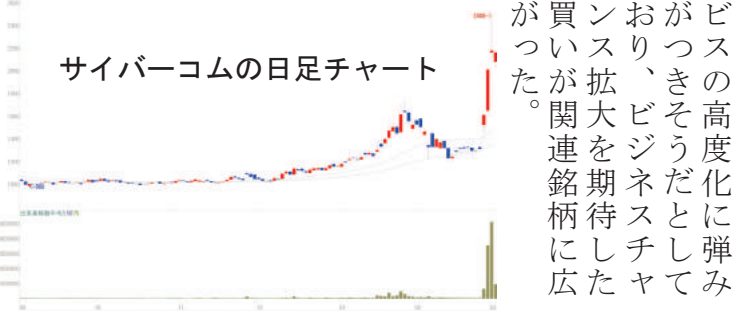
ハリマ化成グループ(4410)の18年3月期の連結業績は、売上高725億円(前期比1・6%増)、営業利益38億5000万円(同3・1%減)と前期並みを予想しているが、計画達成にほぼメドが立つた。中国当局の環境規制強化に伴い、紙力増強剤の引き合いが活発化、海外はすでに計画の受注量を確保しており、あとは「一部国内販売価格の引き上げのみ」(広報)としている。

主力の製紙用薬品が中国で増え、外装用塗料向けや印刷インキ用樹脂、ソルダペーストや自動車熱交換器用のろう付け材料、半導体用

本格的な収益拡大へ戦略進む

機能性樹脂などの電子材料も好調、第3四半期累計の連結決算は、売上高541億2100万円(前年同期比0・8%増)、営業利益30億8200万円(同1・7%増)と増収増益で着地した。

通期計画に対する3Qの営業利益進捗率は80・1%に達し、上振れが望める状況。当面は原料価格上昇に対応した販売価格引き上げが課題だが、夏には中国・山東省の新工場稼働予定で、米国はFDA対応製品を拡販、ラベルシールの需要を掘り起こしてロータリーをテコ入れすることにより、来期は本格的な収益拡大が期待される。



ビスの高度化に弾みがつきそうだとしており、ビジネスチャンス拡大を期待した買いが関連銘柄に広がった。

QR決済関連値飛ばす

27日、メディアアシーク(4824)が後場に入ってストップ高。日本経済新聞電子版が、三井住友、みずほの3メガバンクグループは、スマートフォンで手軽に支払いができる「QRコード決済」に参入すると報じたことを受け、無料バーコード読み取りアプリ「バーコードリーダー/アイコンニット」を取り扱

扱い、O2Oプラットフォームフォーム「App CMS/ICONS I T アイコンマネージャー」サービスを提供する同社に関心が集まり、買いが殺到した。スマートフォン向け電子決済システムを扱うフライトホールディングス(3753)もストップ高に買われたほか、アイリッジ(3917)やオプトエレクトロニクス(664)、メタップス(6172)なども大幅高となった。

ワコム外資系格上げ

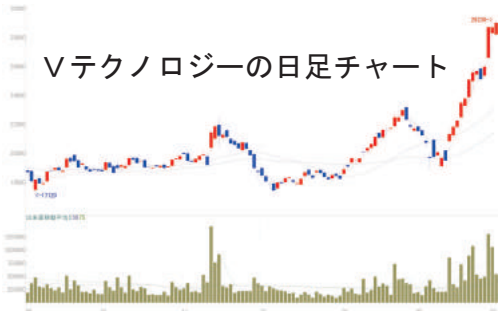
27日、ワコム(6727)が続騰。ク

SKジャパン上方修正

28日、エスケイジャパン(7608)が急伸。18年2月期の連結業績予想を売上高で52億円から53億7000万円(前期比17・1%増)へ、営業利益

で2億3500万円から3億円(同2・6倍)へ方修正した。「星のカービィ」などの定番キャラクターが好調に推移、オリジナルの商品の増販により売上総利益率が向上している。

岡山 憲史著「熱盛」銘柄5選!!【S-1・株-1で優勝した株プロが厳選する5銘柄】がリリースされました。証券市場新聞の「潮流」でも辛口かつ的確なマーケット分析と銘柄選択で好評を得ている岡山 憲史氏の「熱盛」銘柄5選!!を是非一読ください。



上げた模様。中国で10・5世代向けフラットパネルディスプレイ製造装置への引き合いが予想以上に強く、受注が2ケタ近い伸びが続くとし

Vテク大幅高で最高値

受注拡大観測で目標株価引き上げ

28日、ブイ・テクノロジー（77）が17）が2日ぶりに実質最高値を更新した。受注拡大観測を理由に国内証券会社が目標株価を大幅に引き上げた模様。

サイバーコムS高で新値

28日、サイバーコム（3852）が前日比約18%上昇し、約1カ月ぶりに昨年最高値を更新した。

買いが向かった。Vイストテク増額と分割

28日、Vイストテクノロジー（698）がストップ高。18年3月期の連結業績予想の上方修正と併せ、株式分割を実施すると発表したことを好感した買いを集めた。売上高を31億1000万円から33億5000万円（前期比16・4%増）、営業利益を3億7900万円から4億7000万円（同33・9%増）へ増額。3月31日を基準日として1株を8株へ分割する。

28日、新日鐵住金（5401）が反落。27日付で、みずほ証券が投資判断を「買い」から「中立」へ、

新日鐵住金判断引下げ

28日、新日鐵住金（5401）が反落。27日付で、みずほ証券が投資判断を「買い」から「中立」へ、目標準株価を3300円から2700円へ引き下げたことが嫌気された。副原料・資材・物流などのコスト負担拡大、世界鋼材市場における「幸せの均衡」終了などを要因に挙げている。

ネクステージ成長性評価

目標準株価を1500円に設定。販売拡大と粗利率改善により

1日、ネクステージ（3186）が大幅高で約1カ月ぶりに昨年最高値を行進した。国内有力証券が中古車小売市場でのシェアアップと業界での相対的利益成長性の高さを評価して、投資判断を新規に「BUY」、

1日、GMOTECH（6026）ストップ高。店舗・施設独自の電子マネーを作れる「GMOアップカプセル電子マネー」を開発したと発表したことで、収益貢献を期待した買いを集めた。電子マネー発行から、アプリを利用した店頭でのチャージや

GMOTECHストップ高

18年11期の連結営業利益は会社予想の38億円を大きく上回る48億円（前期比38・2%増）を見込んだ。

公開価格の4・3倍

1日、前日に東証マザーズに新規上場したジェイテックコーポレーション（3446）は公開価格2250円の4・3倍の9700円で初値を付けた。大型放射光施設向けX線ナノ集光ミラーや各種自動細胞培養装置などを開発・販売する。

ドル円、株式とも二番底探る

先週の東京市場は週半ばから急落に見舞われました。下落要因は様々ですが、テクニカル的にはNYダウ、日経平均ともに教科書通りの動きです。NYダウは一目均衡表・遅行スパンが転換線に到達とともに下落を開始。日経平均は右肩下がりの25日線にタッチ下途端の急落です。先週末には日経平均が2万1000円手前まで下げました。一時的に200日線を割り込んでいましたが、引けに掛けては戻しサポート機能を発揮しました。

3月1日段階の日経平均のEPSは現在1690円です。今の株価でPERは12・5倍程度で割安です。問題は為替市場でドル円は105円台に入りつつあります。2月16日の105・55円は昨年9月ボトムの107・32円と11月ボトムの110・84円までの53日



に対する対等日柄ボトムと思われ、二番底確認からの反発を期待したいものです。

日々勇太郎

転ばぬ先のテクニカル

川崎重工業が急落

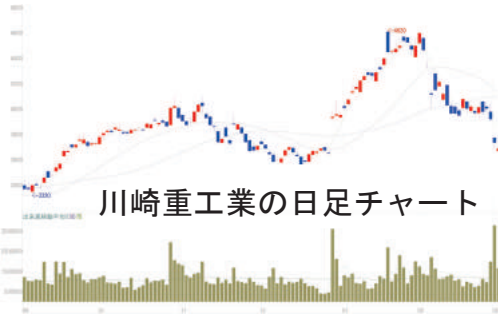
新幹線台車枠き裂発生を嫌気

1日、川崎重工業(7012)が急落。昨年12月11日に、東海道新幹線名古屋駅構内で発生したN700系新幹線車両の重大インシデントにおいて、同社製の台車枠にき裂が発生していたことが嫌気された。同社の車両カ

JAL自社株買い

1日、JAL(9201)が逆行高。発行済み株数の2.0%にあたる700万株、200億円を上限とした自社株取得を設定すると発表

したことを受け、需給改善や株式価値向上による株価浮揚効果が期待された。取得期間向かった。併せて発表された新中期経営計画で、最終年度の売上高1兆6000億円(18兆6000億円)、営業利益1800億円(同1660億円)を目標に掲げたことも好感された。



2007年2月に製造した台車枠で、車両カンパニープレジデントを筆頭とする品質管理委員会(仮称)を設立し再発防

サイバリンクスAIで材料

437)のAI技術を活用した画像認識エンジンと、同社の

週末2日、サイバリンクス(3683)が急伸。AI棚割画像認識サービス「棚SCAN」を4月2日から提供すると発表し、収益貢献を期待した買いを集めた。NTTドコモ(918)に展示する。商品画像データベースを組み合わせたサービスを、スマートフォンなどで撮影した売り場(商品陳列棚)の画像から商品情報や位置情報を判別、店頭陳列(棚割)のデータ化を行い、店頭分析や棚割システム連携ができるという。新サービスは6月9日に東京ビッグサイトで開催される流通情報システム総合展「リテールテックJAPAN2018」に展示する。

他に例なし・暴落底値買一筋(門外不出)大伸流底値先回り買投資成功秘法試見

◎暴落底値買に暴落の心配なし・下記銘柄に天与の買場接近す(2月26日)
 (4755) 富士通 のお里帰りの底値に絶好の買い場迫る

◎ご存知の如く927円の高値より600円台に暴落中なり。000円より断固買の一手なり

- 三菱UFJ 高値936円より暴落時450円前後買→894円に上昇す。今後は?
- トヨタ 高値8783円より暴落時6000円前後買→7806円に上昇す。今後は?
- 千代田建設 高値1164円より暴落時560円前後買→1110円に上昇す。今後は?
- 昭和電工 高値5510円より暴落時1100円前後買→5480円に上昇す。今後は?

迷える投資家の杖味方・買値及び売値予想ズバリ教えます お試ください

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

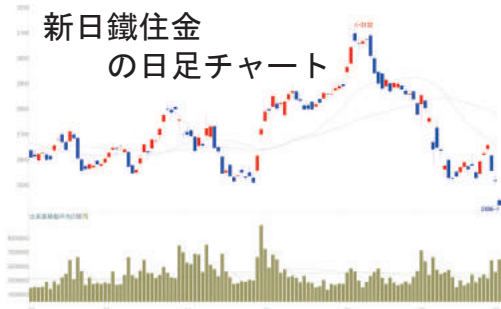
田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年)金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

大伸経済研究社 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照) 将来の運用成果を約束するものではありませんが(銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)

公表銘柄は一例であり全てではありません 目標値は当社独自の分析による予想値です

有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)



411)などの鉄鋼株が幅広く売られた。トランプ大統領が1日に鉄鋼輸入品で25%、アルミニウム製

自動車、鉄鋼株幅広く売り

トランプ大統領の関税方針打撃

2日、トヨタ自動車(7203)やホンダ(7267)の自動車や新日鉄住金(5401)、ジェイエフイーホールディングス(5711)などの鉄鋼株が幅広く売られた。トランプ大統領が1日に鉄鋼輸入品で25%、アルミニウム製

今週の動意銘柄

2日、図研エルミック(4770)がストップ高。大日本印刷(7912)が開発したインターネット上でセキュリティブ性の高い機器間の通信環境を構築するVPN(バーチャルプライベート・ネットワーク)サービス「DNP Multi-Per VPN」のライセンス契約を締

エルミックVPNライセンス

結したと発表した。同社が提供するマルチOS対応ビューワーソフトウェアの開発環境「ZepRO SCP」に「DNP Multi-Per VPN」を組み込むことで、「ZepRO OS CP」ユーザーがビューワーを開発する時点でVPN機能を実装することが可能になる。

品で10%の関税をかける方針を示したことが、影響が懸念された。ただ、全面安の状況下で突出している下落でもなく、来週の会見でトランプ大統領がある程度の妥協案を示す可能性もあり、今後の推移を見極めたいという向きもあった。

伊藤園は利益減額

2日、伊藤園(2593)

が影響している。円高による保有外貨建資産の評価損計上した。天候不順による販売不振や急激な益の下方修正を嫌気8%減)へ修正、利益000万円(同9・000万円から123億5000万円)へ、純利益で140億円(同1・0%増)26億円から220億円(同1・0%増)予想を営業利益で2年4月期の連結業績593)が急落。18

3月10日(土)個人投資家向けセミナー in 大阪

主催：株式会社 イベントス 協賛：証券市場新聞

3月10日(土) 14:30~16:30 受付・開場14:00 定員：216名(参加料：無料)

第1部 14:30~15:20 沖縄セルラー電話 (9436：東証ジャスダック)

会場：エル大阪 南館5階 「南ホール」 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14

沖縄セルラーは沖縄で唯一のモバイル通信、固定通信サービスを展開している総合通信事業者です。

近年では、植物工場やECサイトといった新規事業立ち上げなど、通信以外の事業にも取り組んでおります。「沖縄のためにお役に立ちたい」との強い思いから産声を上げた当社は、「地元に全力」をモットーに沖縄に密着した事業展開をしております。

執行役員 経営管理部長 上原 靖 氏

第2部 15:30~16:30

高野 恭壽(たかのやすひさ)氏の株式講演会



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式市場新聞大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。



交通：地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

潮流

メジャーSQが転換点

225先物売りも限界に近い

marKet/bAnk

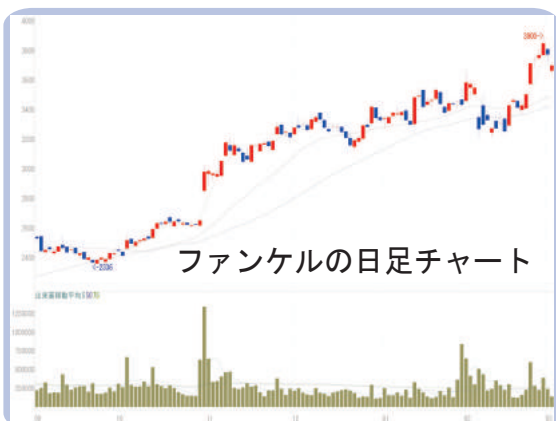
米ダウ平均は2月9日の安値2万3360ドルから27日の高値2万5800ドルまで2440ドル（10.4%）上昇した。VIX指数は50.3ポイントから15.2ポイントまで70%急落。日経平均は14日の安値2万950円から2万2502円まで1552円（7.4%）戻した。日経平均VIは38.3から19.75まで48%急落。米国債権市場とドル円相場も徐々に落ち着きを取り戻して来ている。

ただ、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が初の議会証言で米景気に楽観的な見通しを示し、利上げペースが加速する可能性が意識されると日米の株式は大幅下落となり、VIX指数も急上昇となった。ヘッジファンドはパウエル議長が株価急落に言及し、場合によっては利上げの時期をずらすことを期待していたのだろう。期待はずれになったことを理由に売りを仕掛けただけだ。

特に日経平均はヘッジファンドによる「日経225先物と日経VI指数」のプログラム売買で激しく上下する。個人投資家の参加する余地が無い。一部の個人投資家は日経225先物が無い新興市場で売り買いを行っているに過ぎない。

今年に入って2月第2週までの海外勢の売越

額は約4兆8000億円に達した。この数字は現物株と株価指数先物を合わ



ファンケルの日足チャート

せたもので、先物は76%に当たる3兆7000億円の売り越しだった。先物売りはいずれ買い戻しが入るため、潜在的な買い要因になる。海外勢による先物の売越額のうち、特に短期的な視

点の投資家が売買の中心とされる日経225先物は約6割とされる。裁定取引の解消の影響などを除くと1兆~1兆5000億円が日経225先物の売り持ち高となる。この売りが買い戻しにつながれば日経平均は急騰することになる。

3月9日は株価指数先物・オプション3月物の特別清算指数（メジャーSQ）算出日だ。このタイミングで日経225先物の買い戻しが進み、日経平均の上昇トレンドが鮮明になることが予想される。SQまでが買いのチャンスとなる。2月から売りを仕掛けたヘッジファンドは買い戻すタイミングを計っていると考えられる。2番底の恐怖に怯える投資家を捉えて短期的に売りを仕掛け、逆手に買い戻しを進めることが予想される。日経平均VIX指数といった恐怖指数を利用して225先物を売り叩くことも限界に近い。

潮流銘柄はファンケル（4921）、アイビーシー（3920）、SBSホールディングス（2384）。



岡山 憲史氏 株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール

1兆円超える買い戻し始る

「プリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。 <http://marketbank.jp>

チャートから読む 騰落銘柄

HIOKI (6866)



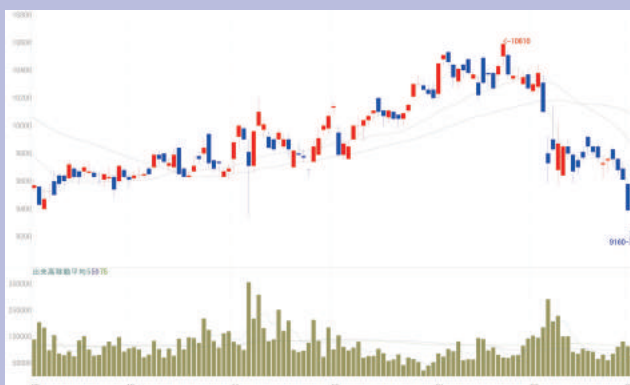
地合い悪でも25日移動平均線を下値支持ラインに高値圏で頑強。EV用電池計測関連が好調、2006年5月12日の最高値4600円までフシはなくまずは4000円目指す動き期待。

SBSHD (2384)



2月6日安値1022円を底値に切り返し、日足が陽転。大勢上昇トレンド確認のあと、5日移動平均を下値支持ラインに一貫して下値を切り上げる。連日の新値追いで、最高値1790円が視野に。

リンナイ (5947)



1月24日の昨年来高値更新後に値を崩し、9800円前後で揉み合った後に再度下げ基調になる。昨年11月7日の9340円を割れば、9000円割れから昨年4月6日の8790円を意識。

ローソン (2651)



日足陽転ならず、大勢下降トレンドのなか、再び下値を探る。下値抵抗ラインの7200円を割り込み、急降下する5日移動平均が上値を圧迫。月足で下ヒゲを引いた6500円水準が次の下値メド。

※チャートは日足

今週の

活躍期待銘柄



イノライト工業 (5358)

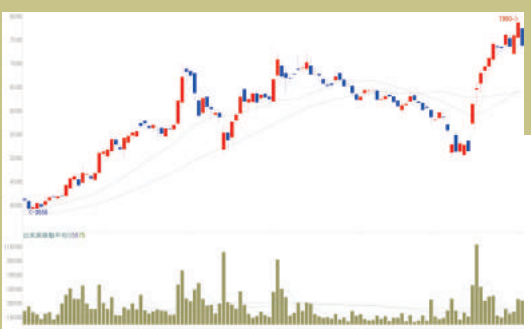
高付加価値製品が伸びる

イノライト工業(5358)は2月2日の最高値1447円から大きく値を崩したが、950円割れで下げ止まる動き。実質無借金で財務内容は良好、好調な業績からも時価近辺は見直せそうだ。

セラミックファイバーの大手で、耐火断熱レンガと高温断熱ウールに代表される高温用耐火断熱材を製造・販売している。セラミックファイバー製品は高付加価値のRCF(リフラクトリーセラミックファイバー)作業環境規制対策品や自動車関連製品が好調で、18年3月期は第3四半期累計の営業利益で25億6700万円(前

年同期比62・8%増)と大幅な増益を達成、通期予想の28億円(前期比31・4%増)は上方修正期待が高まる。品川リフラクトリーズとの連携効果や安全性が高い次代セラミックファイバーの拡販も期待される。(と)

18年3月期は上ブレ期待



ハーバー研究所 (4925)

インバウンド需要で利益急増

ハーバー研究所(4925)は2月6日安値5000円を底値に急反騰、一気に上場来高値を上抜き、さらに一段高を志向してきた。

通販を主体とした無添加化粧品メーカーだが、バリア機能を高める基礎化粧品やアレルギー性が低く最も安全とされるミネラル色素によるメイク用品など、肌に優しい優れた品質が訪日外国人の間にも浸透。インバウンド需要の拡大を背景に、百貨店向けや直営店など店舗販売が急増しており、業績は計画を上回るペースで推移している。18年3月期3Qは連結営業利益15億500万円

(前年同期比45・8%増)と大幅増益で着地したが、直近3カ月(9~12月)では8億5000万円(同86・0%増)と収益拡大ピッチが加速、通期計画の19億円(前期比7・4%増)は大幅上振れが期待される。(さ)

直近3カ月は86%営業増益

※チャートは日足

調整は最終局面迎える

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

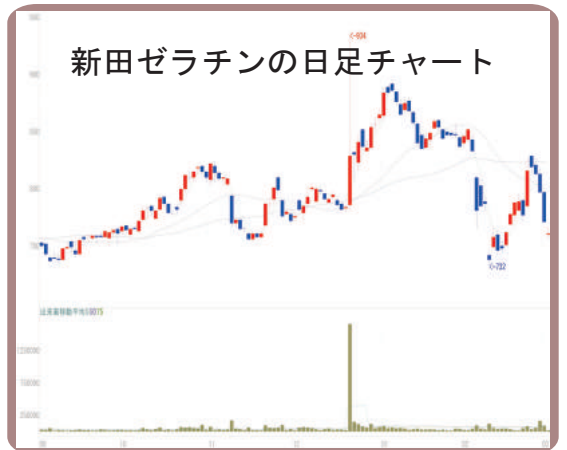
この欄を執筆している3月1日の東京市場は米国株式の連日の大幅下落に先行き、強い警戒感が募り、寄り付きから大きく売られて始まりました。ほとんどの戻す場面もなく下落を続けたので、日経平均は2月6日急落の引け値2万1610円に近づいたことでようやく抵抗感が台頭しています。加えて調整の一因である為替については円高に至っていません。3月第2週はSQ週であることから悲観的ムードが強まっています。米国株式市場については、2月28日は

の金利が2・91%台だったのですが、1日午後7時現在で2・83%まで低下しています。このように金利上昇の服感が台頭すれば、NY高から東京市場も反発が期待されますので、今回の調整は最終局面に入っていると見ています。

新田ゼラチン悲観の必要ナシ

前回推奨の新田ゼラチン(4977)は全体の下落相場にそのまま飲み込まれてしまいました。ただし、株価上昇を支援する新たな材料も出ています。大阪大の澤教授らは心臓の細胞をシート状にして心不全の患者に張り付けることで心臓を再生することに成功し、実用化に向けて治験を急ぐことを決めました。この心臓細胞を何層にも重ねるにはゼラチン粒子が不可欠になっています。細胞同士をくっつけると同時に酸素や栄養素までゼラチン粒子は通すことができ、ために、細胞をシート状にしても壊死しなくなります。15層までシート状にすることに成功しています。第一三共と共同開発しますが、ゼラチン粒子も必要不可欠の素材として注目され、先行き新田ゼラチンの株価を大きく押し上げる可能性が高く、悲観する必要はありません。

大紀アルミニウム工業所(5702)は下値抵抗力の強さがみられました。恐らく、目先的には反発するものと思われます。アンジェス(4563)も530円以下はしぶとさがみられ、戻す可能性がでてきました。基本的にはこれらの銘柄の押し目買いでいいとみていますが、光ファイバーの需要が大容量高速通信向けに伸びており、関連銘柄の住友電気工業(5802)、フジクラ(5803)、昭和電線(5805)などを拾うのが良作かとみています。最も出遅れているのがフジクラで、下値不安が薄いとみられます。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報
これでどや!!
<http://www.kabun-takano.com/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の 株街往来

～深刻化するコバルト不足～

最近、5年近く使用してきたiPad miniのバッテリーの減りが早くなってきた。移動中での簡単な情報取得ならスマートフォンで十分なのだが、チャート分析など複雑なことから画面が大きいiPadが重宝する。仕方ないのでバッテリーの交換を調べたら1万円超もするので、躊躇してしまった。たぶん

筆者と同じように悩んでいる方は多いのだろうと想像するが、このiPadを販売するアップルがリチウムイオン電池の原料となるコバルトを採掘会社から直接購入する記事が目についた。

ハイブリッド車や電気自動車などへもバッテリーの需要が拡大するなかコバルトの価格は過去18カ月で3倍になったそうだが、世界のコバルト生産量の50パーセントを産出しているコンゴ自体が児童労働や政変で問題視されているだけに、話は複雑だ。メーカー自体が原材料の確保に悩んでいるのだからバッテリーの価格は更に上がるかもしれない。今やバッテリーがなければ生活ができない時代。根本的なことを見直さないと事態は更に深刻化する。



New product

トーセ 「ドラゴンクエストライバルズ」の開発をサポート



トーセ（4728）はスクウェア・エニックスから2月22日に配信が開始されたYahoo!ゲーム版「ドラゴンクエストライバルズ」の開発をサポートしたことを発表した。ドラゴンクエストシリーズの「ドラゴンクエストライバルズ」はドラゴンクエストに登場するキャラクターやモンスターのカードで、ターン制バトルが楽しめるオンライン本格対戦カードゲーム！。プレイヤーはさまざまなカードを組み合わせた自分だけのカードデッキで、全国のライバルたちから勝利を目指す。トーセは家庭用ゲームソフト開発・制作請負の専門最大手で、スマホゲーム開発で高い開発力には定評がある。

しまかぜ運行5周年

近鉄GHD

21日からキャンペーンを実施



近鉄グループホールディングス（9041）傘下の近畿日本

しまかぜ「の運」急「し観鉄道は、畿日本」をコンセプトとし、2013年3月21日に大阪難波・近鉄名古屋から賢島間で運転を開始して以来、今年で5周年を迎える。14年10月10日には、京都から賢島間も加わり、17年9月には、利用顧客数が100万人を達成するなど好評を得ている。3月21日には記念イベント「しまかぜ運転開始5周年記念イベント in 賢島」や鉄道番組でおなじみの南田裕介氏とおおぞらIIで行くツアーを実施、4月8日までは車内限定記念メニューの発売も予定している。

企業レター

実施する。観光特急「しまかぜ」は、「乗ること自体が楽しみとなる列車

今週は上下に大きく動く

水、木曜日の仕掛け的動きに警戒

敏腕先物トレーダー
ハチロクの裏話

れている。今月は海外から売り
つけるように。今月は海外から
がでたようである。外国人投資
週まで連続株式を売り越した
累計で約7兆円売り越した
ことになる。やはり、戻り
過程においても着実に日本
株を売却している。先週は
前半戻りを試す展開となっ
たが、後半で下値を摸索す

日経平均とで感じるこ
は月初は高めに一旦上げるた
いというアうのが多くなってきた
ノマリがように思う。一日の中
ついに崩れでも「相場高の後場安」
た。この2が多し、先週でも火
年間20回曜日に節目の2万21
連続高かつ70円を抜けてきて2
たが、今月万2500円台まで上
は321円昇したのに、金曜日に
安と大幅マは2万1000円の攻
イナスとな防となった。強いと見
った。そもせかけて買いを誘いそれ
も月初め売りたくなるように下げ、
が高いとい下げに拍車を掛ける。「A
うのは個人I(人工知能)」による戦略
の積み立てなのだろうか。
投信「NIある。低下していたVIX
SA」の買指数も再び上昇し、日経2
いが入るか2500ポイントのIVも高
らだと見止まりしている。ポジショ
ンが固まった水曜日や木曜
日に仕掛けの動きがある
と十分考えられ、今週は細
心の注意が必要である。
2月14日の安値2万90
0円を割ってくるようだと
ボリンジャーバンドの▼2
σ(2万6000円処)が意
識されよう。上値は下落過
程であけた2つの窓の上の

る動きとなつた。
トレードし
て感じるこ
とであるが「下げるた
め一旦上げる」とい
うのが多くなってきた
ように思う。一日の中
でも「相場高の後場安」
が多し、先週でも火
曜日に節目の2万21
00円を抜けてきて2
万2500円台まで上
昇したのに、金曜日に
は2万1000円の攻
防となった。強いと見
せかけて買いを誘いそれ
を売りたくなるように下げ、
下げに拍車を掛ける。「A
I(人工知能)」による戦略
なのだろうか。

今週のスケジュール

- ・ 4日 イタリア総選挙
- ・ 5日 米2月ISM非製造業景況指数 (6日00:00)
- ・ 7日 1月景気動向指数(14:00)
米2月ADP雇用統計(22:15)
- ・ 8日 日銀金融政策決定会合(~9日)
10-12月期GDP改定値、1月国際収支(8:50)
2月都心オフィス空室率(11:00)
2月景気ウォッチャー調査
中国2月郷駅収支
ECB定例理事会(ドラギ総裁会見)
- ・ 9日 黒田日銀総裁会見
1月家計調査、2月マネーストック(8:50)
メジャーSQ算出日
韓国・平昌冬季パラリンピック開会(~18日)
米2月雇用統計(22:30)

窓(2万2068円)が戻
りの上値と思われる。今週
は上下に大きく動きそう
である。為替の動きに注意
たい。(ハチロク)



編集後記
古都奈良の東大寺二月堂
では3月に入ると、いにし
えから続く伝統行事「お水
取り」が行われる。東大寺
を開山した良弁の高弟、実
忠が始めたとされ、752
年以來、途絶えたことがな
い。罪を懺悔し、天下泰平
や五穀豊穰を祈る神事で、
静まり凜とした空気のなか
かがり火と奏楽による厳か
な演出が神や自然への畏敬
の念を感じさせる。行事が
終わる14日までは春は訪れ
ないという。
さて、東京市場は原理を
歪めるかのような売り崩し
の吹雪が吹き荒れている。
ただ、春はもう近い。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。